

杉並支部会員アンケート 〈新型コロナによる影響等〉 集計結果

2021年8月
東京商工会議所 杉並支部

1. 調査概要

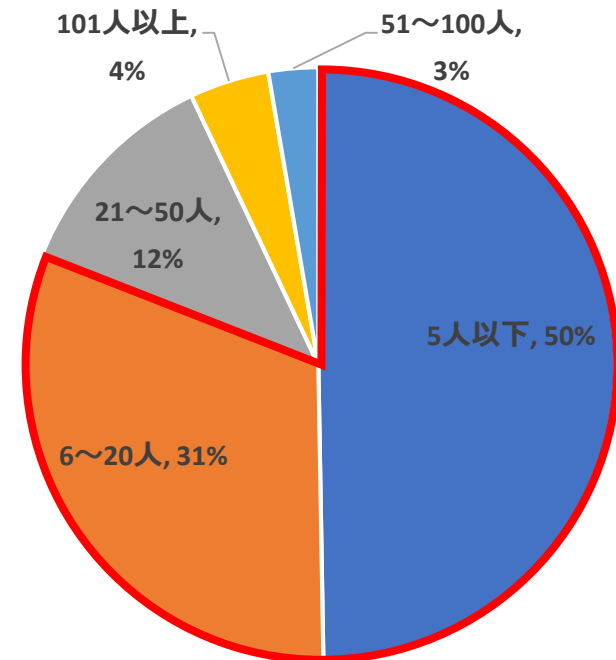
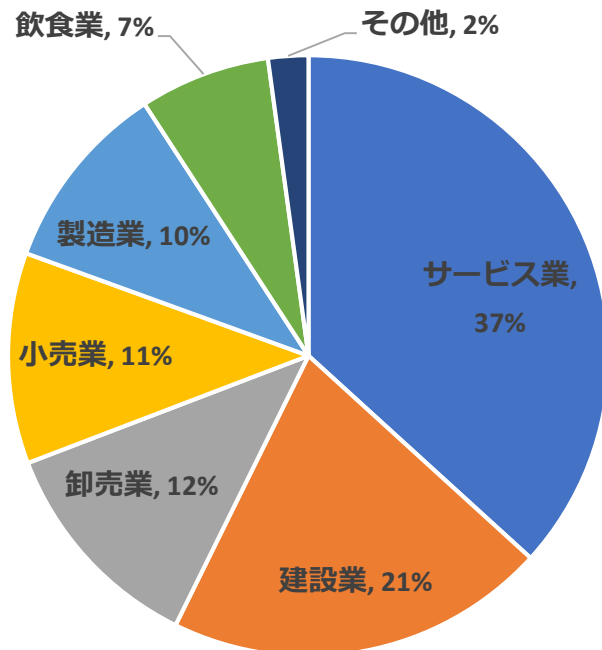
調査目的：杉並区政に対する区内事業者の「声」を広く収集するとともに、昨年11月に実施した「新型コロナウイルスによる事業への影響実態調査」の継続調査として、深刻な影響が続く新型コロナウイルスによる経営への影響についても、同時にヒアリングすること。

調査対象：東京商工会議所杉並支部会員企業 2, 4 2 4 社（2021年5月時点会員数）

調査期間：2021年5月24日～6月23日

回答件数：185（回答率：7.6%）

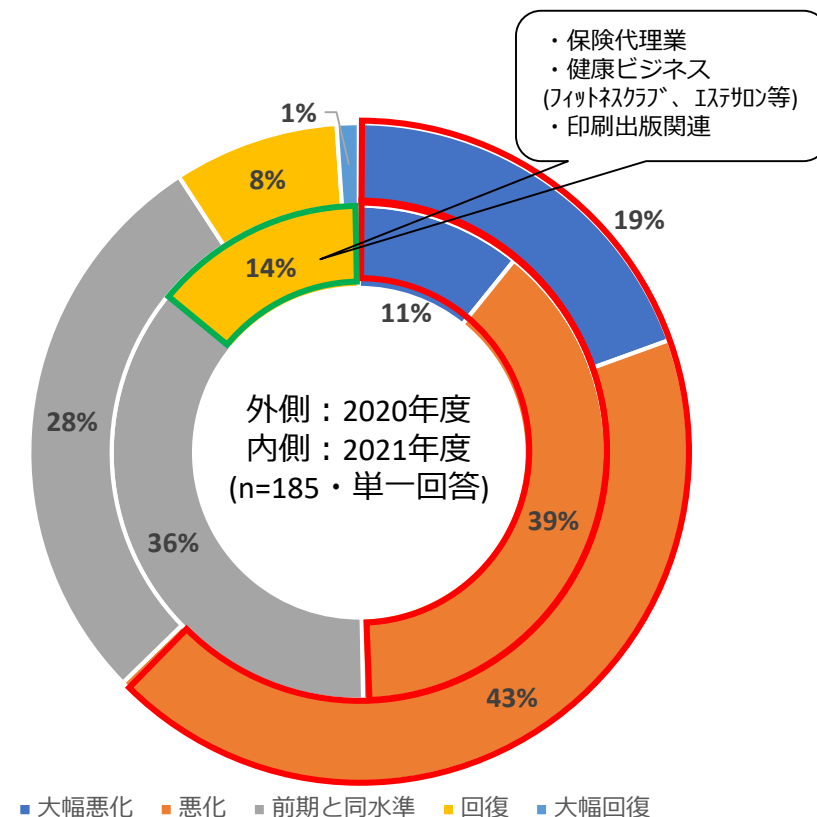
○回答企業の81%が、従業員数20人以下の小規模事業者からの回答となった。



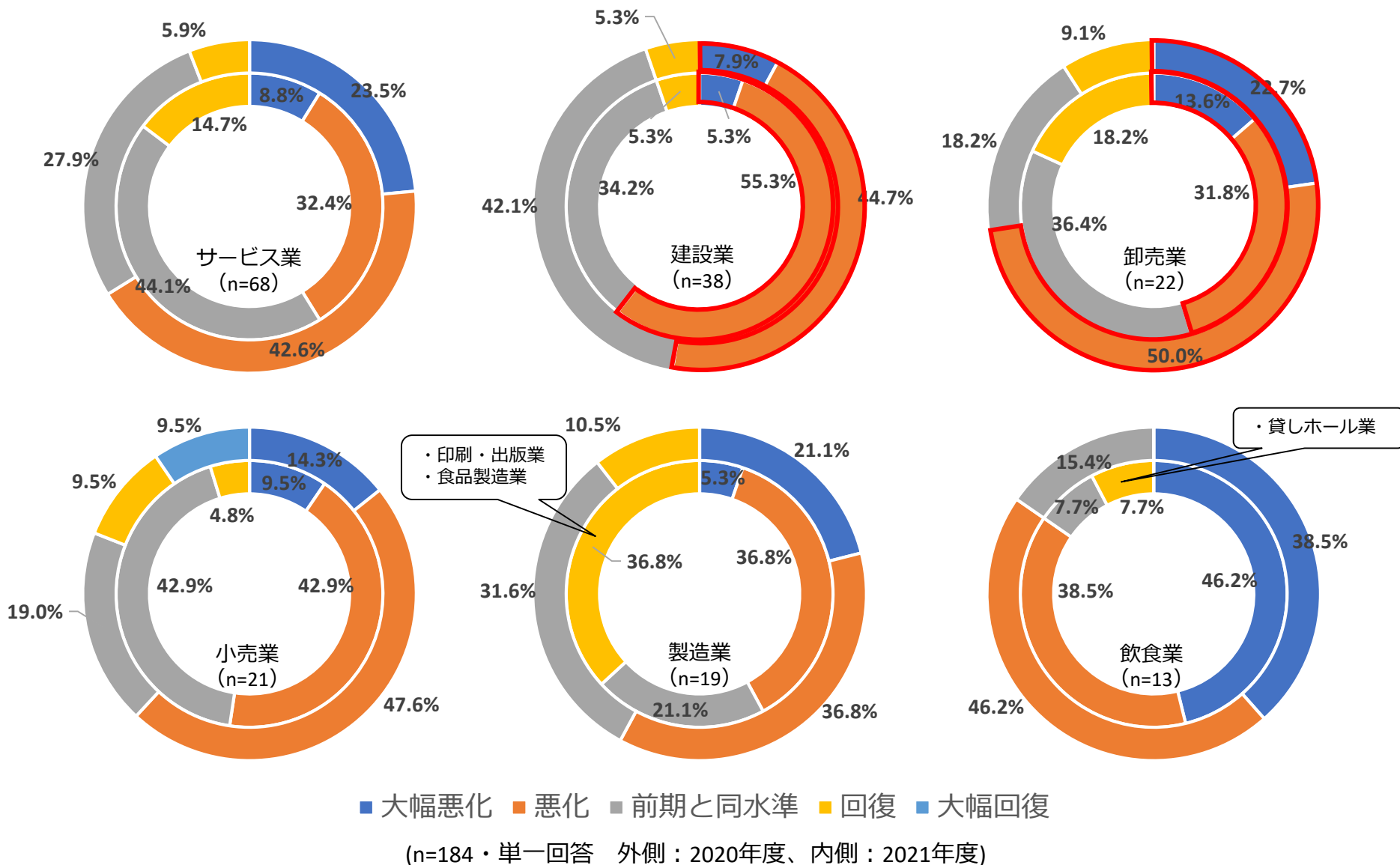
2. 業績見込み(2020年度、2021年度)について

依然として6割の事業者が業績悪化、影響長期化

- 2020年度(2020年1月以降に開始する期)の業績(見込)は、全体の62%(大幅悪化:19%、悪化:43%)が悪化(見込)となった。
2021年度(2021年1月以降に開始する期)の業績見込みは、大幅悪化(11%)、悪化(39%)ともに減るも、依然として5割の事業者が2020年度よりもさらに悪化すると見込む。
- 2021年度業績見込みを「回復見込」と回答した事業者も14%存在し、回答した事業者の業種をみると「保険代理業」「健康ビジネス(フィットネスクラブ、スタジオ等)」、「印刷出版関連業」などとなった。
- 業種別にみると、建設業は2020年度業績が悪化したと回答した割合(大幅悪化7.9%、悪化44.7%)よりも2021年度業績見込のほうが悪化すると回答した割合(大幅悪化5.3%、悪化55.3%)が上回り、業績回復までに時間がかかることが伺える。一方、製造業は、2021年度業績見込みを「回復見込」と回答した割合が36.8%となり、先行きに明るい見通しを持っていることが伺える。



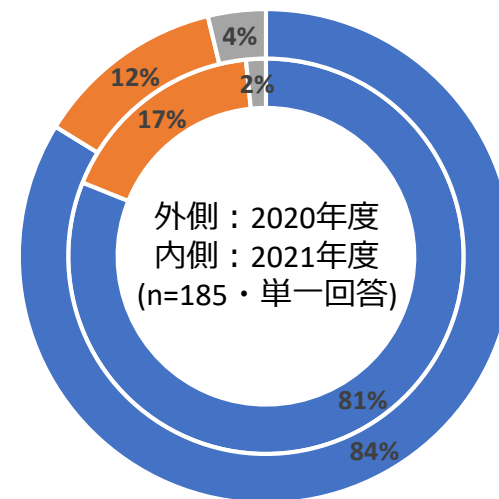
3. (業種別) 業績見込みについて



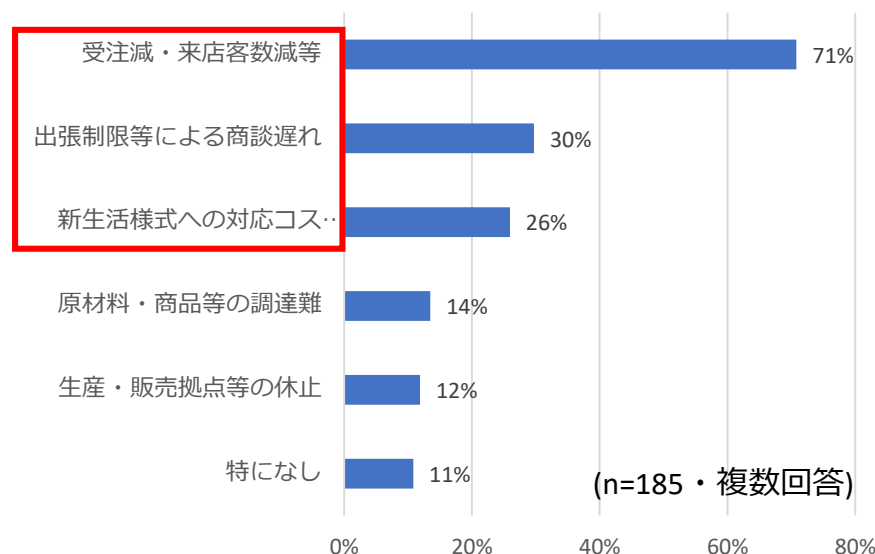
4. 新型コロナによる経営への影響について

約8割が「マイナス影響」 影響の長期化を見込む

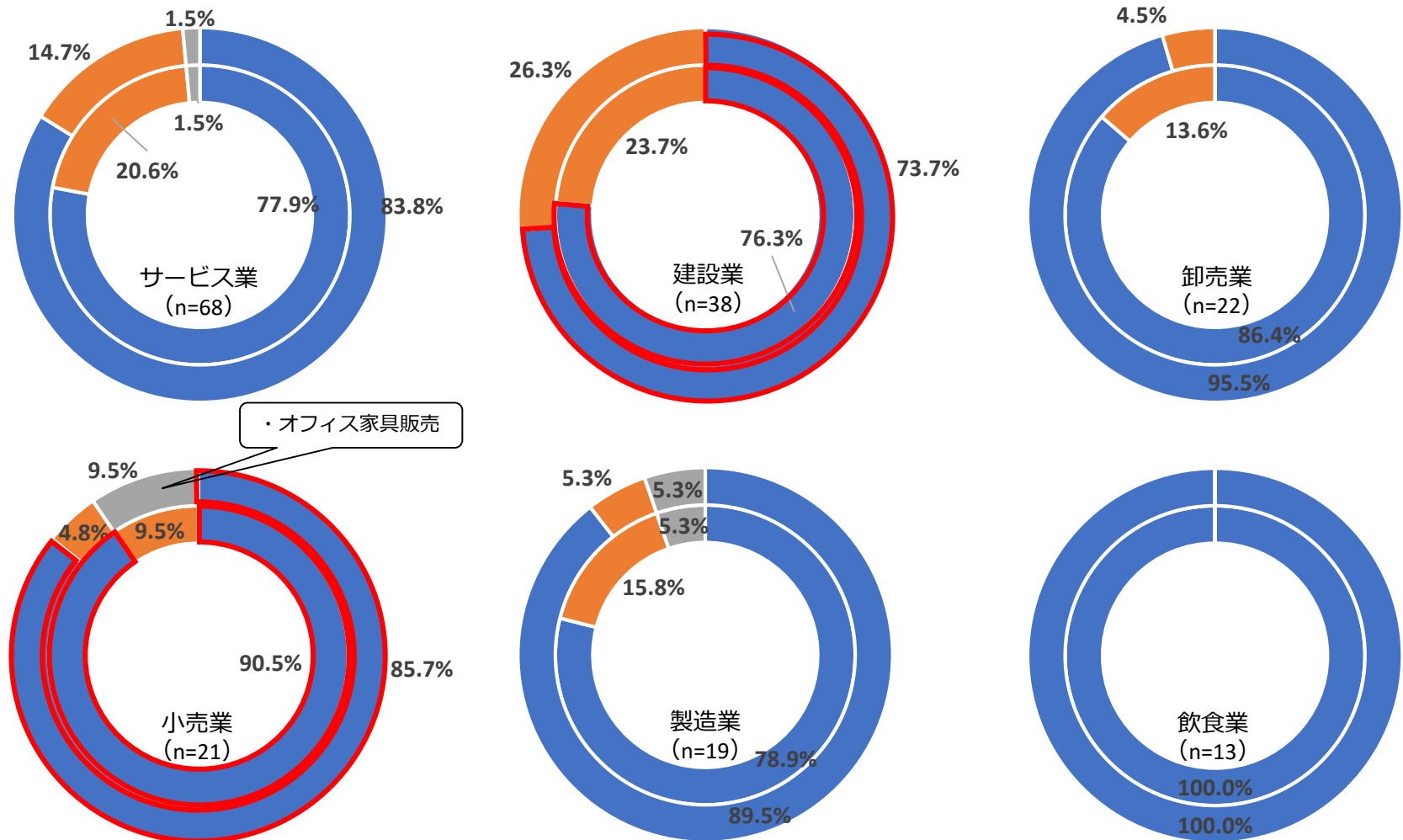
- 2020、2021年度ともに「マイナス影響がある」との回答が8割となった。改善はわずか3ポイントとなり、引き続き新型コロナによる経営へのマイナス影響を不安視する声が多い。
- 具体的な内容は、「取引先からの受注減、来店客数の減少等」(71%)、「出張制限等による商談等の遅れ・機会の喪失」(30%)、「新しい生活様式への対応に伴うコスト増」(26%)が上位となった。(前回調査も同順)
- 業種別にみると、建設業と小売業は2020年度よりも2021年度のほうがコロナ影響が大きくなると見込んでいる。また小売業のうち「オフィス家具販売」事業者は、2020年度業績にプラスの影響があったと回答したが、2021年度はテレワーク需要などが一巡すると見込んでおり、プラスの影響はなくなると見込む。
- 業種別に特徴的な影響内容を見ると、建設業、卸売業は「現在業・商品等の調達難」(15.8%、40.9%)、小売業は「需要増に伴う生産・販売拡大」(19.0%)となり、街のパン屋などからは「巣ごもり需要の影響から売上が伸びた」との声も聞かれた。また飲食店は店舗の休業が大きなマイナス影響となったとの回答が多かった。(53.8%)



■ マイナス影響があった(あるだろう) ■ 影響なし
■ プラス影響があった(あるだろう)



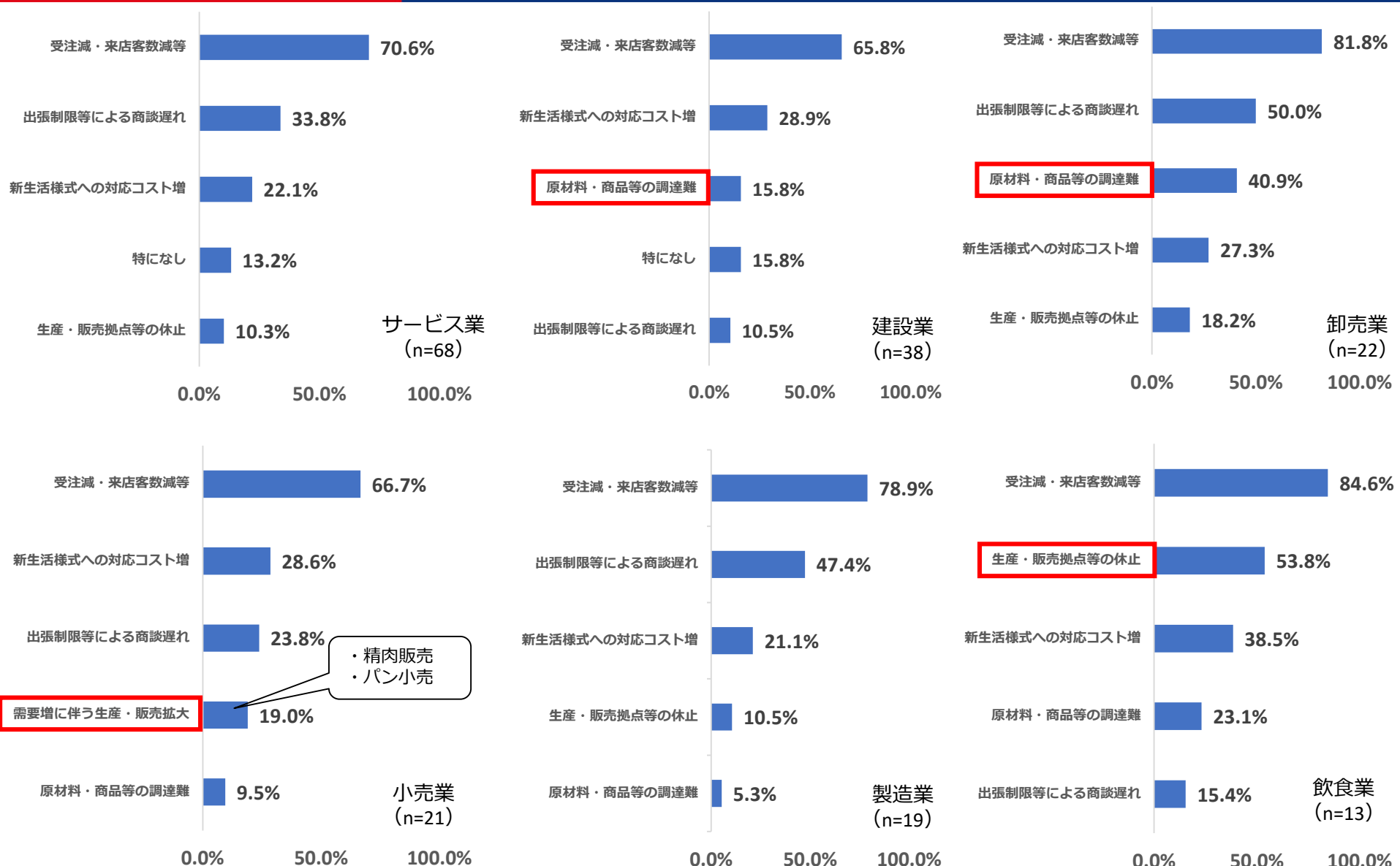
5. (業種別) 新型コロナの経営への影響



■ マイナス影響があった(あるだろう) ■ 影響なし ■ プラス影響があった(あるだろう)

(n=184・単一回答 外側：2020年度、内側：2021年度)

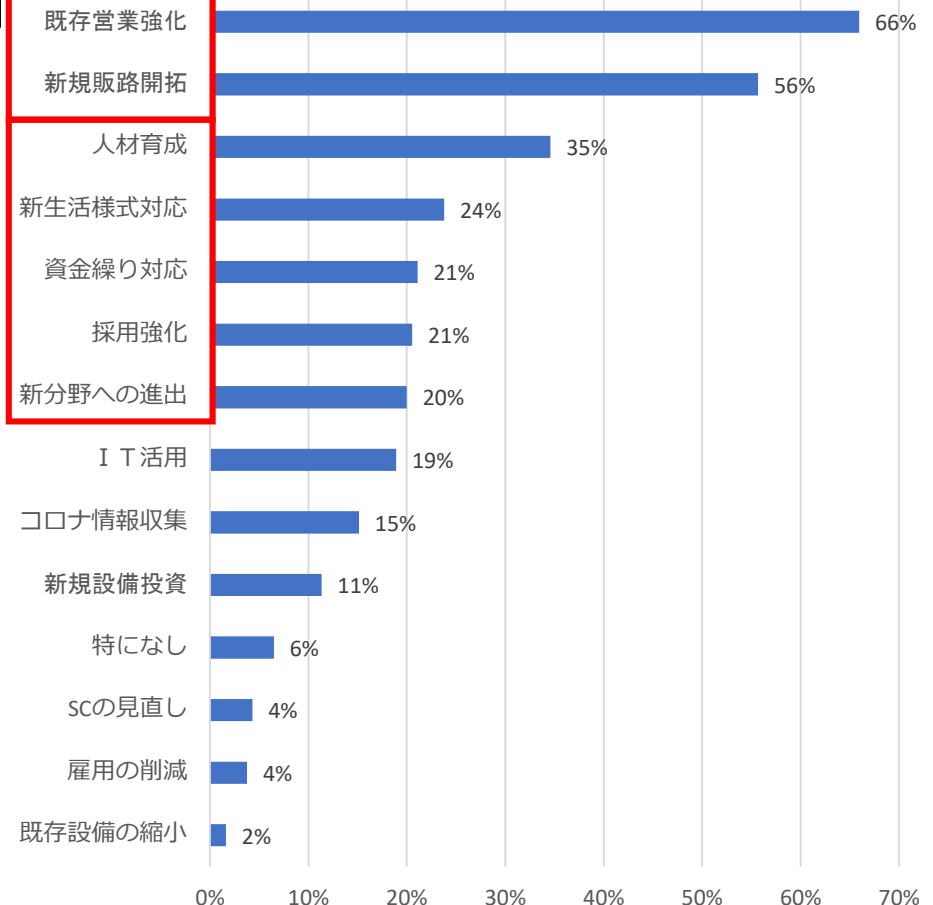
6. (業種別) 新型コロナの経営への影響



7. コロナ影響を克服するための今後の取組

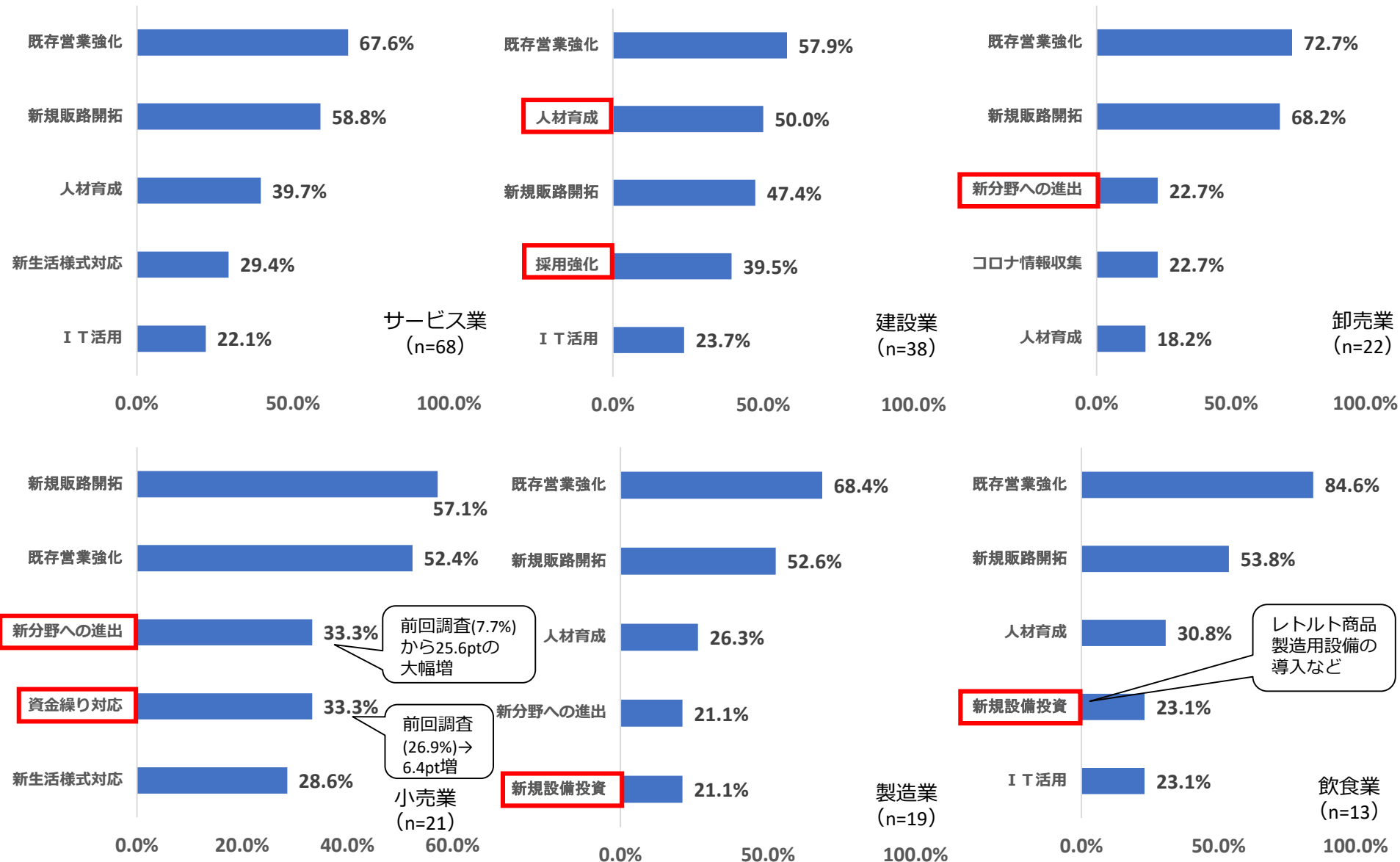
既存・新規顧客への営業強化が過半数を占めた

- 「既存顧客への営業強化」(66%)、「新規販路開拓」(56%)と回答した企業が半数となった。
- 次いで「人材育成」(34%)、「新しい生活様式への対応」(23%)、「資金繰り対応」(22%)、「採用強化」(21%)などの回答が多くなり、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた新たな行動を計画する事業者の様子が伺える。
- 業種別に特徴的な今後の取組を見ると、建設業は「人材育成」や「採用強化」との回答が多く、卸売業、小売業では「新分野への進出」が多くなった。製造業、飲食業では「新規設備投資」との回答が多く見られ、飲食業者から「レトルト商品開発用の設備を導入した」とのコメントがあった。
その一方、小売業では「資金繰り対応」と回答した事業者が前回調査と比較して6.4ポイント増加し、飲食業などに比べ十分な支援を受けられなかった小売業の資金繰り難が予想される結果となった。



(n=185・複数回答)

8. (業種別) 今後の取組



9. 区政に求める支援策や東商へのご意見・ご要望 (自由記述) 東京商工会議所

【その他】

<資金繰り・助成金等>

- ・区として、コロナ対策関連融資制度の拡充を希望します。
(医療コンサルタント)
- ・コロナ特例融資の借入残がそのままになっているため、新規の借入が可能かどうか不安。
(歯科技工業)
- ・家飲みが増えたとはいえ、酒屋の利用客数増加には至らず。こんな時こそ杉並ギフト券の販売による消費喚起を。
(酒類販売)
- ・創意工夫して効率化を図る事業者への支援を拡充してほしい。
(タクシー業、保険代理業)
- ・新規事業形態への補助金(新ビジネススタイル事業導入助成)の維持・拡充。
(建設業)
- ・飲食業への助成が手厚く、不公平感を感じる。
(卸売、保険代理業)
- ・助成金や融資制度等の情報集約と発信を強化してほしい。
(インターネット運営、特殊車両販売)
- ・この状況でも販路拡大や新規客開拓等前向きに事業に取り組んでいる小規模事業者への支援。|
(飲食業)
- ・アフターコロナへ向け事業を拡大することへの補助金、助成金の創設
(ライブハウス)

<コロナ対応>

- ・コロナうつを発症し社員の活気が失われている。コロナにおびえる状況を打破してほしい。
(出版業)
- ・1日でも早い全区民へのワクチン接種。
(飲食店)
- ・ワクチンの職域接種の対応を簡素化・柔軟化して欲しい。
(タクシー業)

<人材>

- ・営業マンなどを募集しているが、応募がほとんどない。
(機械工具類販売)
- ・人材不足に困っている。
(運送業)

<公共工事>

- ・積極的な財政運営により、公共事業の延期や中止を行わないことで区内経済の下支えをお願いします。
(総合建設業)
- ・区内事業者への優先発注を継続してほしい。
(設備工事業)

挑みつづける、変わらぬ意志で。

